

公開講座の開設主旨・目的等

今年度の文学部公開講座は、「日常と非日常のはざま」と題して4つの講義をお届けいたします。

2019年以降、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、まだまだ収束は見通せないものの、日々の暮らしのなかで徐々に「日常」を取り戻しつつあります。しかし、未知の感染症と、それに対する防疫策として行われたロックダウンや行動制限によってもたらされた「非日常」は、いまなお私たちの「日常」に影を落としています。

また2022年にはロシアがウクライナへと侵攻し、ウクライナで暮らす人びとの「日常」がまたたくまに奪われていきました。そして戦争が長引くことが見込まれるなかで、ウクライナやウクライナから逃れた人びとは言うまでもなく、ロシアの人びとや、さらには他の国々で暮らす人びとにも、今回の戦争はさまざまなかたちで影響を及ぼし、戦争という「非日常」が「日常」のなかに浸潤しています。

本年度の講義はこうした「日常と非日常のはざま」に直面する状況に対して、それぞれのアプローチから迫ってみたいと思います。現在、私たちが置かれた状況を俯瞰的に把握し、これからのことを皆さんとともに真摯に、多角的に考えてゆく、そうしたきっかけになればと願っています。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月1日(土)	13:30-13:40	挨拶	文学部長 長坂 一郎
2		13:40-15:10	自分を変えることが難しいのはなぜか —『春にして君を離れ』をヒントに—	講師 安倍 里美
3		15:20-16:50	自分の世界のつくりかた —宋代文人の詩を読む—	講師 早川 太基
4	10月8日(土)	13:30-15:00	日本の古典受容史と戦乱の記憶	講師 齋藤 公太
5		15:10-16:40	ソ連の対東欧軍事介入	准教授 藤澤 潤

連絡先

神戸大学大学院 人文学研究科 総務係
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL: 078-803-5591
FAX: 078-803-5589
E-mail: lsoumu[at]lit.kobe-u.ac.jp(※ [at] を @ に変更してください)